



## 平成 15 年度 供給計画の概要

クリエートチェンジ21

お客さまに信頼され選択されるために

*ToYou ForYou WithYou*



平成 1 5 年 6 月

中国電力株式会社

# 目 次

はじめに	1
1 . 電力需要の見通し	3
2 . 電源開発計画	4
3 . 電力輸送設備計画	7
< 参考 > 設備工事費	8
電力系統図	9

## はじめに

電気の安定供給の確保、エネルギーセキュリティや環境保全等の課題との両立などを基本的考え方として論議された総合資源エネルギー調査会（経済産業大臣の諮問機関）の答申において、電力小売自由化の段階的拡大、送配電部門業務の支援を行う中立機関の創設、全国規模の卸電力取引市場の整備、電力流通の活性化などが盛り込まれるなど、電気事業を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

こうした状況のなかで、中国電力とグループ企業は一体となって良質で安心できる商品・サービスを満足いただける価格でトータルソリューションとしてお客さまに提供し、「マイ ベスト チョイス、エネルギア」とのお言葉をいただけるよう、徹底したコスト削減による価格競争力の強化、お客さまニーズに的確にお応えするサービスの提供および自由化拡大に対応した販売チャネルの充実など営業力の強化に努めてまいります。

中国地方の電力需要は、中長期的には、素材型産業の生産の伸び悩みや省エネルギーの進展などの影響はあるものの、経済の持続的な成長や情報化・高齢化の進展、快適性志向の高まりに伴うエネルギーの電力シフトなどにより、緩やかながら着実に増加するものと予想されます。

こうした電力需要動向に対応し、電力の安定的かつ効率的な供給を果たすため、合理的な設備形成、長期的なエネルギーの安定供給確保を図るとともに、地球環境問題にも積極的に対応するため、原子力発電の開発に全力を挙げて取り組み、バランスのとれた電源開発を推進してまいります。

このような考え方のもと、次項に重点を置いて平成15年度供給計画を策定しました。

## お客さま志向の徹底による競争力強化

お客さまのご要望に徹底的にお応えすることを基本に、お客さまから選択されることを目指したプロポーズ（能動的提案）活動を展開するとともに、低廉な電気料金の実現に向けた設備の効率性を高め、徹底的なコスト削減をはかります。

### 【プロポーズ（能動的提案）活動の展開】

- ・個別提案型営業活動の推進と競争力のある料金水準の追求・料金メニューの充実によるお客さまニーズへの対応力強化
- ・コジェネや熱供給事業をはじめとする多様なエネルギー利用を提案するなど、グループ企業と連携したトータルソリューション提案の展開・拡大

### 【低廉な料金の実現】

- ・新技術の開発・導入、既設設備の有効活用等による効率的な設備形成と補修時期・内容の見直し等によるコスト削減
- ・負荷平準化による効率的な設備の形成
- ・発注方式の多様化、実効ある競争の継続等による請負・資機材調達のコストの低減

## お客さま、株主・投資家のみなさま、地域社会等からの信頼の獲得

地域社会の一員としての社会的責任を自覚したコンプライアンス経営を強力に推進し、公正・透明な事業運営の徹底を図るとともに、安定供給や地球環境問題への対応など公益的課題全般に関する真摯な取り組みにより、お客さまや地域社会等からの信頼を獲得します。

### 【安定した電源・電力輸送設備の形成と運用】

長期的視点に立った供給体制を確立し、広域運営を推進するとともに電力の安定かつ効率的な供給を果たします。

- ・原子力発電を中心とするベストミックスの実現を目指した電源開発の推進
- ・需要動向に対応した電力輸送設備の整備

### 【環境・エネルギー対策への取り組みと原子力発電の開発推進】

当社環境行動計画に基づき、地球環境問題等へ積極的に取り組みます。特に発電の際にCO<sub>2</sub>を排出しない原子力発電の開発には全力を挙げて取り組むこととし、島根・上関地点の着実な開発を目指します。

- ・予防保全対策の的確な実施などによる島根原子力発電所の安全・安定運転の継続
- ・原子力発電の必要性和安全性について広く社会から理解を得るための、迅速・適切な情報公開を含む積極的な広報活動の展開
- ・既設火力発電所のLNG転換、電源の熱効率向上および省エネルギー等の推進
- ・太陽光発電や風力発電等の新エネルギーの普及促進および研究開発

# 1. 電力需要の見通し

平成15年度供給計画の電力需要は、政府の経済見通しや経済財政諮問会議の考え方などに基づいて想定しました。

## (1) 販売電力量

生活関連用需要は、省エネルギー機器の普及などの要因はあるものの、情報化および高齢化の進展、快適性志向の高まりなどにより、今後とも着実に増加するものと見込まれます。一方、産業用需要は素材型産業の生産の伸び悩みなどから、ほぼ横ばいで推移するものと考えられます。

この結果、平成24年度の販売電力量は620億kWh、13年度から24年度までの年平均伸び率は1.3%（気温等補正後1.4%）と想定しました。

## (2) 最大需要電力

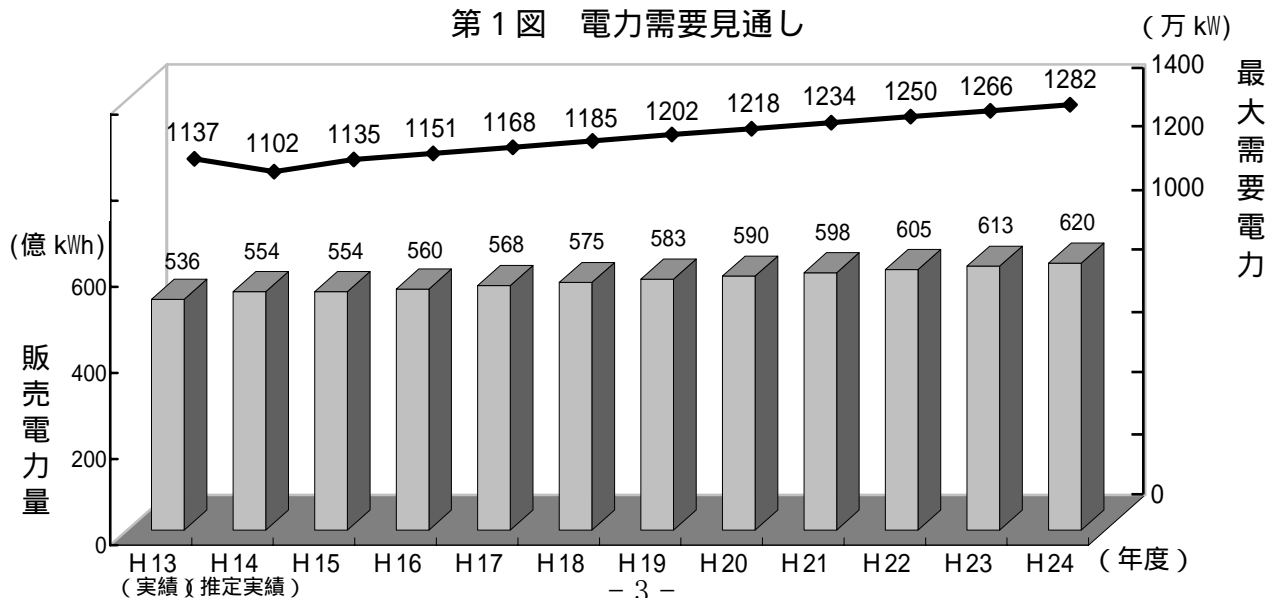
最大需要電力は、販売電力量と同程度の伸びを見込み、平成24年度1,282万kW、13年度から24年度までの年平均伸び率は1.1%（気温等補正後1.4%）と想定しました。なお、年負荷率は、生活関連用需要の増加や産業用需要の伸び悩みなどの悪化要因はあるものの、負荷平準化努力などにより、ほぼ横ばいで推移すると見込んでいます。

第1表 需要想定

区 分 \ 年 度	平成13 (実績)	14 (推定実績)	15	16	19	24	13～24年度 年平均伸び率(%)
販売電力量 (億kWh)	[535] 536	[552] 554	554	560	583	620	1.3 [1.4]
対前年度伸び率 (%)	[▲1.1] ▲1.6	[3.3] 3.4	[0.1] 0.1	[1.4] 1.1	1.3	1.2	—
最大需要電力 (万kW)	[1,103] 1,137	[1,120] 1,102	1,135	1,151	1,202	1,282	1.1 [1.4]
年負荷率 (%)	[58.7] 57.1	[59.8] 60.9	59.0	59.0	58.8	58.8	—

注：[ ]は気温等補正後を示す。

第1図 電力需要見通し



## 2.電源開発計画

電力需要動向に対応した安定供給の確保および効率的な設備形成を基本に、電源多様化の推進、地球環境問題への対応、広域運営などを総合的に勘案し計画しました。

これに基づいた電源開発計画および最大電力需給バランスは第2表のとおりです。

### (1)水 力

新帝釈川を平成18年6月に営業運転開始します。

### (2)火 力

三隅2号を平成19年7月に、大崎1号系列[1-2]を平成20年12月にそれぞれ営業運転開始します。また、水島3号(石油)を平成18年4月に、水島1号(石炭)を平成21年4月にそれぞれLNG転換します。

第2表 電源開発計画表

区 分		年 度	平成14 (実績)	15	16	17	18
電 源 開 発 計 画	自 社	水 力	奥津第二 1.52(平成14/9)	魚切 0.07(平成15/4)			新帝釈川 1.1(平成18/6)
		火 力					水島3号 (35.34) 石油 LNG 転換 (平成18/4)
		原子力					
	他 社 受 電	水 力				苫田 0.46(平成17/4)	三室 0.046(平成18/4)
		火 力		(株)ユービーイー パワーセンター 19.5(平成16/3) 三菱レイヨン(株) 4(平成16/3)			
		原子力					
需 給 バ ラ ン ス	供 給 力	万 kW	1 2 3 9	1 2 9 8	1 3 2 0	1 3 0 5	1 2 8 4
	最大需要電力	万 kW	1 1 0 2	1 1 3 5	1 1 5 1	1 1 6 8	1 1 8 5
	供給予備力	万 kW	1 3 7	1 6 3	1 6 9	1 3 7	9 9
	供給予備率	%	1 2 . 4	1 4 . 3	1 4 . 6	1 1 . 7	8 . 4

(3) 原子力

島根原子力3号を平成22年3月に営業運転開始します。

また、上関原子力については1号を平成24年度に、2号を平成27年度にそれぞれ営業運転開始します。

(4) 他社受電

平成16年3月に(株)ユービーイーパワーセンター(石炭:19.5万kW)および三菱レイヨン(株)(石炭:4万kW)から受電を開始します。

また、平成22年7月に電源開発(株)大間(原子力:9.1万kW/138.3万kW)から受電を開始します。

(単位:万kW)

19	20	21	22	23	24	25以降
三隅2号 40(平成19/7)	大崎1号系列 [1-2]25/50 (平成20/12)	水島1号 12.5 26.5 石炭 LNG 転換 (平成21/4)				
		島根3号 137.3 (平成22/3)			上関1号 137.3 (平成24年度)	上関2号 137.3 (平成27年度)
				志津見 0.17 (平成23/4)	平瀬 0.12 (平成24/4)	
			大間 9.1/138.3 (平成22/7)			
1310	1326	1367	1428	1428	1428	
1202	1218	1234	1250	1266	1282	
108	108	133	178	162	146	
9.0	8.9	10.8	14.3	12.8	11.4	

第3表 電源開発計画の概要(平成24年度までに営業運転開始する地点)

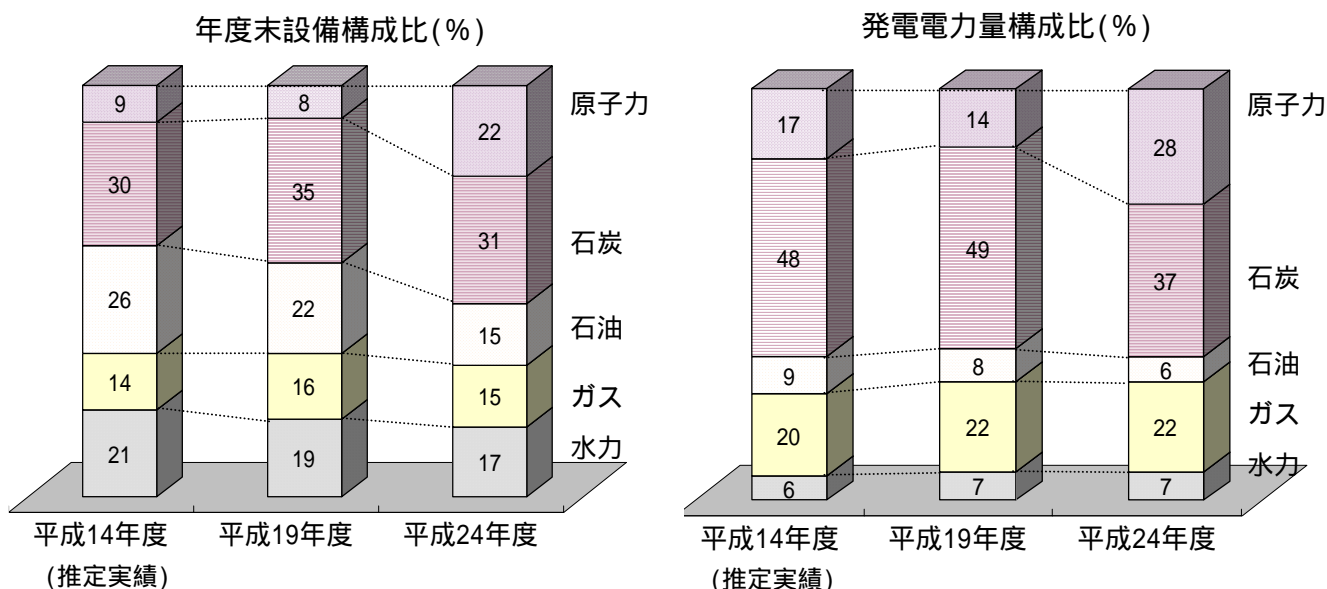
設備	区分	発電所名	出力 (万kW)	使用燃料	着手年月	着工年月	営業運転 開始年月
水力	工事中	新帝釈川	1.1	-	平成13-9	平成15-5	平成18-6
	計		1.1				
火力	工事中	大崎1号系列 [1-2]	25/50	石炭	平成7-7	平成7-11	平成20-12
	着工準備中	三隅2号	40	石炭	平成5-12	平成16-6	平成19-7
	平成18年度 着手予定	水島1号	26.5	LNG	平成19-3	平成19-4	平成21-4
	計		91.5				
原子力	着工準備中	島根3号	137.3	低濃縮ウラン	平成12-9	平成16-3	平成22-3
	着工準備中	上関1号	137.3	低濃縮ウラン	平成13-6	平成19年度	平成24年度
	計		274.6				

注：着手年月とは、発電所についての計画が電源開発促進法第3条第1項に規定する電源開発基本計画に組み込まれた（又は希望する）年月をいいます。また、着工年月は、電気事業法第47・48条に基づく工事計画の認可・届出を行った（又は希望する）年月をいいます。

第4表 電源開発計画の概要(平成25年度以降に営業運転開始する主な地点)

設備	区分	発電所名	出力 (万kW)	着手年月	着工年月	営業運転 開始年月
原子力	着工準備中	上関2号	137.3	平成13-6	平成22年度	平成27年度

第2図 電源構成比率（他社受電分を含む）



### 3. 電力輸送設備計画

電力需要動向に対応した安定供給を確保するとともに、設計の合理化や機器仕様の見直しなどによる効率的なネットワーク設備を構築する計画としています。

基幹系統については、現在工事中の広島中央線新設工事および広島中央変電所新設工事を着実に進めてまいります。

地域供給系統の送電・変電設備および配電設備は、地域ごとの電力需要想定に対応した的確な供給力を確保する計画としています。

また、5箇所の給電所を統合して新たに基幹給電制御所を設置（平成16年2月）し、より効率的かつ安定的な電力ネットワークの運用を行ってまいります。

第5表 主要送電線路工事計画表

区分	件名	工事概要			
		区間	電圧(万V)	巨長(km)	営業運転開始年月
工事中	広島中央線 新設	広島西幹線No.18 ～広島中央(変)	22	12.0	平成16-6

第6表 主要変電所工事計画表

区分	件名	工事概要		
		電圧(万V)	容量(万kVA)	営業運転開始年月
工事中	広島中央(変) 新設	22/11	60	平成16-6

< 参考 > 設備工事費

効率的な設備形成，請負・資材調達コストの削減など徹底したコスト低減を進め，設備工事費は第7表のとおりです。

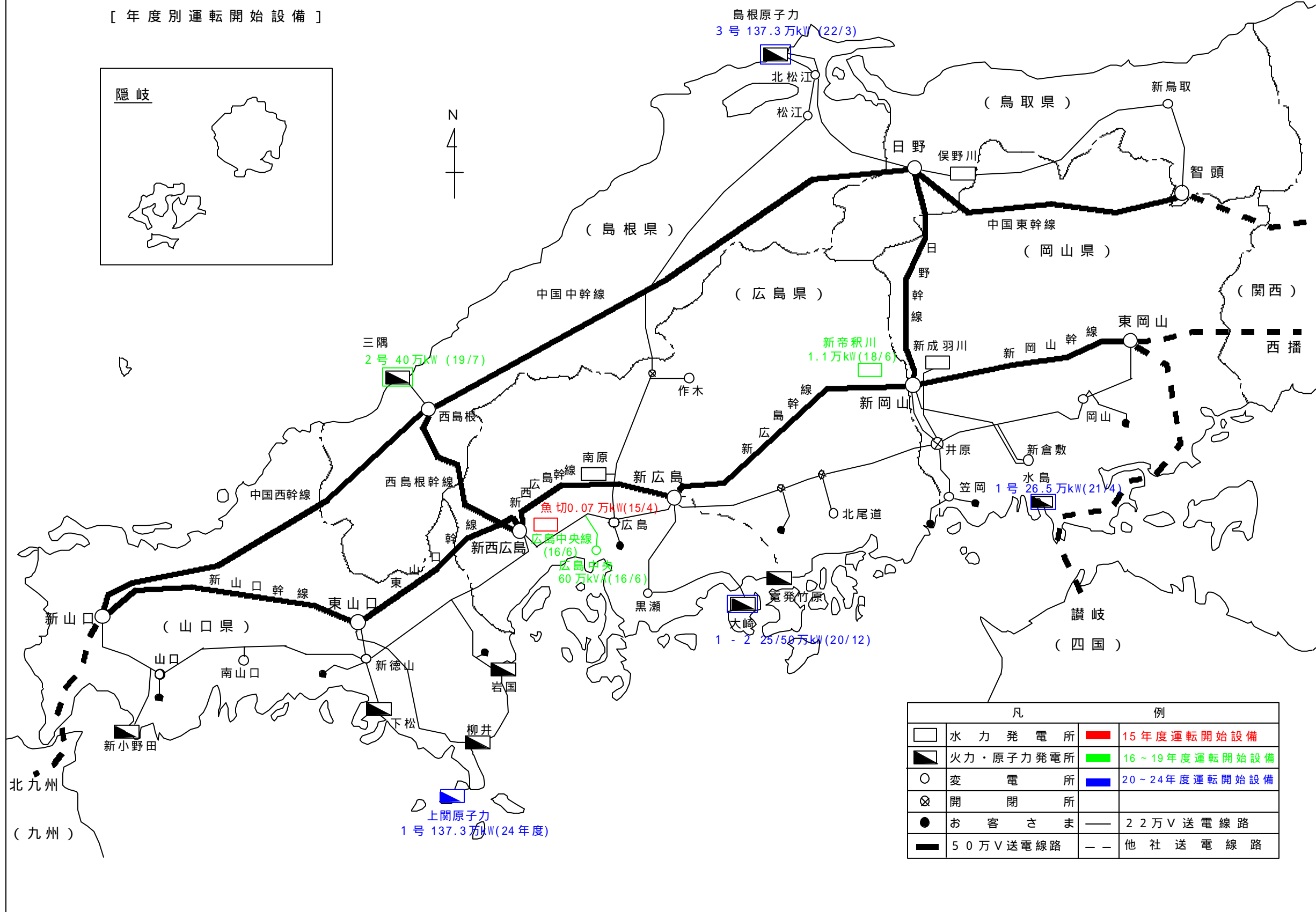
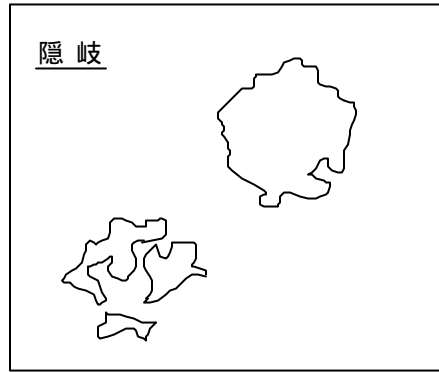
第7表 設備工事費

(単位：億円)

区分		年度	平成14 (推定実績)	15	16
		拡 充	電 源	水力	32
火力	0			2	179
原子力	94			201	357
小計	126			243	593
工	送電		99	87	93
	変電		54	35	25
	配電		67	70	68
事	給電その他		144	70	8
	拡充工事計		490	505	787
改良工事			465	403	462
合計			955	908	1,249
原子燃料			197	128	115
総計			1,152	1,036	1,364

# 電力系統図 (22万V以上)

[ 年度別運転開始設備 ]



凡		例	
□	水力発電所	■	15年度運転開始設備
▣	火力・原子力発電所	■	16～19年度運転開始設備
○	変電所	■	20～24年度運転開始設備
⊗	開閉所		
●	お客さま	—	22万V送電線路
—	50万V送電線路	- -	他社送電線路

